

中川 勲 議員（代表質問）

1 上田市長の今後4年間の思いは

- (1) 市議会議員20年、市長8年の集大成であり、今までやってきたことを自信を持って継続するとのことであるが、最も重点的に取り組みたいことは何か。
- (2) 新年度予算に新規事業が入っていないようだが。
- (3) どの自治体においても、財政健全化策に取り組んでいるが、上田市長の考えは。
- (4) 市民のしあわせのために何に取り組むのか。

2 滑川市のまちづくりについて

- (1) 大規模ショッピングセンター建設計画があると聞くが、滑川市としてどう考えているのか。
- (2) 具体的にどのような内容か。
- (3) このショッピングセンター開店後の滑川市の商業全体は、どうなると考えているのか。
- (4) 富山県の「まちの未来創造モデル事業」に上小泉地域が採択されているが、具体的には何か。

3 市民の安全・安心について

- (1) 防災行政無線デジタル化実施設計の予算化をされているが、現状の拡声器の配置で聞こえにくい地域があるが、それを解決する設計もするのか。
- (2) いつごろまでにデジタル化の運用ができるのか。
- (3) 消防の火災発生時のサイレンの吹鳴もできるのか。

- (4) 昨年の市内における火災件数が7件と多くなっているが、対策はしているのか。
- (5) 密集住宅地域における、連動式火災警報器の設置に向けた取り組みはしているのか。

4 産業振興について

- (1) 安田工業団地の造成は、計画通り完成するのか。また、企業誘致の目途は立っているのか。
- (2) 県内における市民1人あたりの工業製品出荷額では、圧倒的な1位であるとのことであるが、そのことで従業員の給料が高くなった等の影響があったのか。
- (3) 「ものづくりのまち滑川」を標榜するなか、市民はそれぞれの会社で何をつくっているのか知っているのか。
また、子ども達にもものづくりの現場を見学できる機会を設けるべきと思うが。
- (4) 「ものづくりのまち滑川」を標榜するなか、産業観光の推進に取り組んでいるのか。

5 学校教育について

- (1) 新年度から、小学校において道徳教育が実施されるとのことだが、何を重点に指導されるのか。
- (2) 小学校3年生以上の児童に対し、年15時間以上の外国語活動が実施されるが、どのように活動されるのか。
- (3) 教育情報化推進計画は、どのように取り組むのか。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 市長選の結果について

- (1) 3期目のスタートだが、僅差での当選についてどう受け止めているか。
- (2) 今後の市政運営にあたり、「丁寧な説明」が求められているのではないか。

2 「子ども第一主義」をどう進展させるか

- ・ 新たな施策は今後の補正予算で具現化を図るとしているが、子育て支援のさらなる進展を考えているか。県も極めて限定的ながら保育料の無償化に取り組むとされている。
 - ア 保育料無償化の拡大は。
 - イ 子ども医療費の無料化の拡大は検討しないか。国のペナルティも軽減される。
 - ウ 学童保育の充実をどう図るか。
 - (ア) 専用施設が必要ではないか。
 - (イ) 支援員の処遇改善と確保
 - エ 市独自の給付型奨学金の創設
貸与奨学金の償還への援助を含め検討しないか。

3 「安全」・「安心」について

- (1) 防災計画の見直しに関連して。
 - ア 見直しの趣旨と周知について
「計画」が計画だけにならないように。
 - イ 災害時用備蓄品の確保と活用策に工夫を。
- (2) 防災行政無線のデジタル化の「実施設計」を委託するが。
 - ア これまでデジタル化への検討はしてきたのか。
 - イ 整備にはどのくらいの費用が必要と想定しているか。
 - ウ 市民にとってはどう便利になるのか。

4 滑川駅前用地の今後について

- ・ 中滑川駅前用地については検討が始まっているが、滑川駅前用地についてはその後になるのか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 観光について

- ・ 今年改めて2隻体制でスタートするほたるいか海上観光、市のイメージアップとともに関係者の皆さんの期待の大きさが強く感じられる。
 - ア ほたるいか海上観光船の乗船申し込みはどのような状況か。
 - イ 自然相手で毎年50%程度の出航率となっているが、中止の時の今年の対応策は。
 - ウ 富山湾岸クルージングも一昨年のように実施するとのことだが、内容も同じか。

2 プロトン凍結機について

- ・ 急速冷凍機「プロトン凍結機」を活用して年中ホタルイカを提供できる、とのうたい文句だったが、活用しきれていないのではないか。
 - ア 業者が現在出荷してもらうときは、どのような手続きになるのか。
 - イ 3トンまで冷凍できるとのことだったが、どれだけ冷凍していたのか。また、未出荷の分はあるのか。
 - ウ 市内だけでの消費は難しいのではと思うが、都会への売り込み先を開拓すべきではないか。

3 学校教育について

- (1) 教員の働き方改革で、県から部活については、中学、高校では週2回休むようにと指導があったが、滑川市内での状況はどうか。
- (2) これを忠実に実施するとなれば、中学・高校のスポーツレベルが上がらないのではないか。競技力向上に力を入れている滑川市としての見解を聞きたい。
- (3) 将来的には、スポーツエキスパート派遣事業が部活の中心を担うのではと考えるが、見解を聞きたい。

4 福祉について

- (1) 各町内にサロンの結成がなされている。現在どの程度実施されているのか。
- (2) お年寄りには家でこもりがちであり、集いの場として大切な事業であるが、お年寄りがお年寄りの世話をしているこれでいいのかと考える。世話をする後継者がいないのでは、と危惧している。他の市ではどうなのか。
- (3) 市の助成は、年間4万円だが、各町内一律である。町内の参加人数で差額を出してもいいのではないか。
- (4) 滑川市の第2子保育料無料化については、人口減少の切り札として28年度より実施している。成果が現れていると聞いているが、その後はどうなのか。
- (5) 国、県も保育料無償化を打ち出している。滑川市との違いを表明していただきたい。

角川 真人 議員（一般質問）

1 雪害対策について

- (1) 今冬の大雪による空き家の損壊等の物的損害や、農作物への影響、雪による人身事故、除雪によるけが人などは、どのくらいと把握しているか。
- (2) 今回の雪は豪雪だったのか。
- (3) 緊急時に動くことができる人材を、ボランティアに頼らず確保しておくべきではないか。

2 障がい者支援について

- (1) 今現在の滑川市の施設利用において、障がい者手帳による料金の割引を行っているものはどのくらいあるのか。
- (2) 障がいを持った方も、健康で元気に社会参加できるよう、施設利用に関する補助を進めるべきではないか。

3 みのお温泉の利便性について

- ・ お年寄りの方がもっと安全で快適に利用できるように、浴室の手すりや休憩所など、全般的に見直すべきではないか。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

1 小規模化する市内小学校について

- (1) 全国的に人口減少、少子化による公立小中学校の児童数の減少が進んでおり、滑川市内でも平成20年から平成28年までの期間で、緩やかではあるが減少傾向にある。平成29年5月現在で、滑川市内小学校1,728名の児童数から今後6年でどう推移されていくと予想されるか。
- (2) 他の市区町村では、学校規模基準を定めているところもあるが、滑川市では学級数での学校規模基準を定めているのか。
- (3) 平成28年度に文科省による、学校規模の適正化及び少子化に対応した学校教育の充実策に関する実態調査が行われた。調査によれば、全国市区町村の82%が小中学校の小規模化を認識しているが、そのうち42%の市区町村が課題を放置していると報告された。滑川市の認識はどうか。課題を放置していないか。
 - ア 東加積小学校に関しては、将来的に存続していく方針を示されたと聞く。方針決定の根拠は何か。
 - イ 平成29年9月定例会において、東加積小学校は現在児童数67名、5年前は83名、未就学児数から6年後の児童数推計が41名という状況報告もあったなか、そのような状況に危機感があるかという質問に対し、市職員全員が危機感を感じていると発言された。何に対する危機感なのか再度問う。
 - ウ 少子化に伴う学校小規模化は、児童の社会性育成や教育上の諸課題がこれまで以上に顕在化することが懸念されている。学習面、生活面、学校運営面とメリットもあるが、様々なデメリットも指摘されている。指導改善資料作成、複式学級や特認校制度、統合による対応が考えられるが、9月定例会では少子化対策を進めるとの答弁で、明確な対応策をいただけていない。どのような選択肢の中から、教育環境を整備されていくのか。
 - エ 複式学級には、教員数減につながることや、指導計画の構成の難しさ、学習指導上の問題も多いと聞くが、教育効果をどう考えるか。また、教職員と児童、相互にかかる負担はどうか。
 - オ 保護者、児童、教職員に教育環境調査を行っているのか。
- (4) 滑川市内では、学校教育法施行規則により、標準とされる学級数を満たしていない小学校は、7校中5校が該当し、小規模化が今後も進むと予想される。学校教育の充実を図るためにも、現在取り組まれている少

子化対策を推進していくことはもちろんであるが、教育委員会重点施策として取り組み、課題解決施策を創出し、教育要覧にも明記していかなくてはならないと考えるがどうか。

- (5) 「子ども第一主義、教育はすべてに優先する」との基本理念を掲げる滑川市においては、起こり得る課題に対しての取り組みとして、統合を含めた規模適正化・適正配置を検討する組織の立ち上げが必要になるのではないか。

2 共生社会実現の推進について

- (1) 第2次障害者福祉計画において取り組まれた、障がい理解の促進、交流促進の成果はどうか。
- (2) PDCAサイクルのプロセスに基づき、庁内関係所管により評価・検証を行われたと思うが、第3次計画では対応されているか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 除雪体制の見直しについて

- (1) 今年度の除雪体制の実績と総括、並びに雪どけ後の道路等の損傷箇所の点検と保守・修繕について
- (2) 除雪路線、除雪延長、除雪用機械、除雪業者並びに除雪要員（オペレーター）等の現状と今後の傾向について
- (3) 高齢化人口減少時代を迎え、福祉と市民の安全・安心の確保、市民ニーズに即した、除雪計画の中長期的な見直しについて
 - ア 除雪路線、並びに除雪延長の拡充の見直しについて
 - イ 除雪機械の配置・拡充の見直しについて
 - ウ 除雪業者並びに除雪要員（オペレーター）、人材の確保について

2 みのお温泉テニス村の利活用について

- (1) ファミリーハウス、グリーンハウスの機械・設備の点検並びに保守・修繕の現状について
- (2) グリーンハウスの使用されていない施設、機械・設備の現状と今後の見通しについて
- (3) グリーンハウスの宿泊者数の現状とその分析について
- (4) 安全で安心して利用でき、おもてなしができる施設環境にすべく、グリーンハウスのリニューアルについて
- (5) テニス村、ファミリーハウス、グリーンハウス、一体的な中長期的な利活用構想について

3 東加積小学校の機械・設備の整備について

- (1) 小学校の施設点検、並びに機械設備の定期点検の実施とその結果、その後の対応、保守・修繕の実施について
- (2) 具体的に、ストーブの故障並びに換気扇の不具合、床のカーペットの損傷等の現状把握と、その対応・修繕について
- (3) 構造物の延命対策としての、施設の点検整備並びに保守修繕の計画的な実施について（例えば、体育館屋根の補修、構造物外構補修等）

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 中小企業支援について

- ・ 今通常国会に、生産性向上特別措置法案が提出されたが
 - ア 本市の対応について
 - イ 今後のスケジュールについて

2 地域包括ケアシステムについて

- ・ 介護保険制度における、2018年度の各事業の取り組み内容について、前年度と比較して問う。
 - ア 在宅医療・介護連携推進事業について
 - イ 認知症総合支援事業について
 - ウ 生活支援体制整備事業について
 - エ 地域ケア会議について

3 教育について

- ・ 学校での心肺蘇生教育の普及及び、突然死ゼロを目指した危機管理体制の整備について
 - ア 本市の小中学校におけるAEDの設置状況について
 - イ 教職員へのAED講習の実施状況について
 - ウ 小中学校における児童生徒への心肺蘇生教育の現状と、今後の方向性について

4 学童保育について

- ・ 卒園後の小学校入学式までの受け入れ体制について
 - ア 現状について
 - イ 今後の取り組みについて

竹原 正人 議員（一般質問）

1 除雪について

- (1) 今冬の豪雪に対しての、除雪作業における対応は、どうだったのか。
- (2) 市所有の除雪車1台が、シーズン中の事故により以降使用不可能となった。今後の対応は。
- (3) 除雪業者やオペレーターの減少を防ぐため、固定費のあり方と就労体制をどう考えているのか。

2 市内の公園等の緑地管理、街路樹の管理業務委託について

- (1) 長期継続契約（3年契約）についてのメリット、デメリットは。
- (2) 委託の内容の設計は必要最小限で、追加作業が多く、適正な価格での設計内容でないため、設計の見直しを担当課に要望しているが一向に改善されないと聞くが、どうなのか。
- (3) 昨年度、市が購入した乗用芝刈り機の使用状況はどうなのか。
- (4) 公園の遊具の利用状況を把握しているのか。

3 ほたるいか海上観光について

- (1) 2隻体制での観光船の運航準備はしっかり整っているのか。
- (2) 観光客の受け入れ体制、おもてなしの準備は整っているのか。

4 屋内運動場の運営について

- (1) 年度内は市が対応することとなっているが、現状の運営状況はどうなのか。

- (2) 4月から運營業務を委託する、滑川市体育協会へ、きちんと引き継ぎ
できるだけノウハウを精査したのか。

5 水道料金、下水道使用料の滞納について

- (1) 滞納状況について、現状はどうなのか。
- (2) 滞納者、滞納金を減らす対策は。

脇坂 章夫 議員（一般質問）

1 手話について

- (1) 来年度の予算の中にある「みんなの手で育む手話のまちづくり」の中で専任手話通訳者1人となっている。1カ所に固定されるのか。あるいはフリーで行動されるのか。
- (2) 来年度も手話講座が計画されている。参加人数も20名となっているが、参加申込者が多数の場合は定員を増やす考えはあるのか。
- (3) 来年度において、目新しい取り組みがあるか。

2 児童の虐待について

- ・ 最近毎日のように、小さい子が親による虐待を受けて、命を亡くしたニュースがよくある。子育てで悩んでいる親子へのアドバイスやケアはどのようになっているのか。

3 財政について

- ・ 市の財政を一般家庭の通帳に例えてわかりやすく説明を願う。

4 市職員の業務遂行について

- ・ 日頃、職員の行動を見て、どのように感じているのか。

5 市長の給料3割カット・退職金の全額返納について

- ・ 市長は、2期8年間の長い間善政を柱に、本市の財政安泰のために「給料の3割カット・退職金全額返納」されてこられたが、隣接する首長を見ても、「給料の3割カット・退職金全額返納」をしていない。給料の3割カット・退職金全額返納」の取り下げを提案されてはどうか。

高橋 久光 議員（一般質問）

・ 我が市の農業施策について伺う

(1) 今後、滑川市が農業に果たすべき役割について伺う。

ア 本年度から米の生産調整の撤廃、それに伴う農家または営農組織に及ぼす影響について伺う。

イ 農家の担い手不足による、耕作放棄田の増加や、営農組織への委託がより進むと思うが、現状の組織や委託（受手）で賄いきれるか伺う。

ウ 地主が営農組織等に委託した場合、今日まで当然のごとく負担してきた農地の管理費、例えば一連の農地管理の負担金は誰が負担すべきか、また責任を持つべきかについて見解を伺う。

エ 農地（地主）と営農組織（受手）の調整役、今日までは市の農業公社だったのが、今後は国、県の指導組織、中間管理機構（農業会議）が窓口と聞いている。この仕組みについて今一度わかりやすく説明願う。

(2) 市長の提唱している食育について伺う。

- ・ 学校給食用地場産野菜の自給率の向上もさることながら、農家所得向上も見据えた市民（一般消費者）への啓もう活動をもっとすべきと思うが。

(3) 我が市の平成30年度有害鳥獣対策は万全か。

- ・ 以前から、クマ、サル、カラス、シカ、イノシシの出没が多くなっている。近年特にイノシシの凶暴化が進んでいるようだが、良い対策が進んでいるかについて伺う。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 上水道について

- (1) 全国的に職員の高齢化と技術の継承の問題がある。滑川市では平均年齢39歳台と若くて安心している。しかし、職員数は減少しており、今後の対応に問題はないか。
- (2) 滑川市の水質検査等は、どのようにしているか。
- (3) 耐用年数が超えている管路はどのくらいあるか。
- (4) 今年度の予算では、営業収益413,541千円。営業費用371,644千円と営業外収支を加えても利益が出ているが、資本的収支を見ると建設改良費の支出割合が多い。将来的に水道料金が上がることは考えられるか。
- (5) 養鶏場建設問題の影響で、水道にもたらす危険は何が考えられるか。

2 下水道について

- (1) 平成29年度までの各地区の整備進捗、また、平成30年度の整備予定はどうか。
- (2) 一般会計から資金を入れている状態であり、収支は良くない。将来的に地方債の償還は行き詰まらないか。
- (3) 下水道計画の見直しは考えていないか。

3 児童館について

- (1) 来館者数10万人を超えた要因と、今後の各種イベントはどうか。
- (2) 児童館での感染症や、ウイルス対策は万全か。
- (3) 児童館の遊具の点検はどのようにしているか。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 教育について

- (1) 科学・理数・ものづくり教育推進事業は、今後どのように進めていくのか。
 - ア 教科書との整合性は。
 - イ デジタル教科書の活用は考えないのか。
 - ウ 観察実験アシスタント整備事業の拡充とあるが、各学校にどのように配置されるのか。
 - エ 各小学校、中学校の進度の連携は取れているか。また、小学校と中学校との連携は取らないのか。

- (2) 通学路の有金～上島の歩道設置の進捗状況はいかがか。

2 観光について

- (1) 今年度予算に「キラリン」の乗船案内看板300万円が予定されているが、シーズンが始まる今になっても何も掲げられていないのはなぜか。まさか3月21日の出航がずれ込むことはないと思うが、いかがか。

- (2) ほたるいかミュージアムが20周年を迎える頃だと思うが、記念事業は何か考えているのか。
 - ア ほたるいかミュージアムの20周年はいつか。
 - イ 2階のミュージアムシアターを全面改築し、3D画面で子ども達が何回でも見たがる新しいブースをつくってはどうか。
 - ウ レストラン光彩で気軽に食事ができるように、エレベーターを設置してはどうか。

- (3) 新幹線から見える滑川PR看板設置の予算1,000万円は、その後どのような状況か。設置場所も決定していたが。

3 地区公民館について

- (1) 地区公民館指導員の報酬面での待遇について、どのように考えているか。

(2) 働き方も含め、市民の皆さんの要望など聞いているか。

- ・日曜日が休みなので、月曜日を開館しておいてほしい。
- ・災害や緊急対応のため、毎日開館してほしい。
- ・現在は、1人体制なので、休日行事の振替はどのようなになっているか。などの声が出ているが、どうか。

大門 良輔 議員（一般質問）

1 災害時の対応について

- (1) 非常食の備蓄量は、どのように決めているのか。
- (2) 備蓄場所について
- (3) 消費期限切れの近い非常食の対応について
- (4) 津波が発生した際、一時避難場所として民間企業に避難できる企業間協定について、状況はどうなっているのか。

2 中学校の部活動について

- (1) 先生の負担を減らすために、部活動を平日で1日、土曜・日曜で1日の週2日間休みをとるという方針が打ち出され、早い段階から中学校では部活の休みを導入していると聞いているが、先生や子ども達の反応はどうか。
- (2) 部活動指導員について
- (3) 今後、部活動は趣味や健康志向で部活をする子ども達と、県や全国で活躍を目指し、積極的に競技をやりたい子の二極化がより進むと考えている。そういった積極的に参加をしたい子ども達に対して、環境の整備はどう考えているのか。

3 介護福祉について

- (1) 2025年には団塊の世代が75歳以上になり、日本の人口の4人に1人(約25%)が75歳以上と、超高齢社会に突入するといわれているが、滑川市は75歳以上の割合は今後どのように推移すると考えているのか。
- (2) 2025年には介護の人手不足問題がさらに加速し、介護を受けたいが受けることができない状況になる可能性がある。このことを滑川市としてどう考えているのか。

- (3) 滑川市は、富山医療福祉専門学校をどのような位置づけとして考えているのか。
- (4) 富山医療福祉専門学校と滑川市の連携状況は。
- (5) 富山医療福祉専門学校と民間企業、滑川市が今以上にタッグを組み、産学官で取り組めば、人材育成や確保、移住や定住、地域住民の介護や介護予防の面で、成果が期待でき、これこそ地方創生の1つと考えるが、滑川市の見解は。